

28年4月分

製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年4月1日～ 28年4月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
4月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/4月	5月	6月
入荷動向	国産材製材品	14.3	△ 7.1	0.0
	外材製材品	△ 7.1	△ 7.1	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	7.1	△ 7.1	△ 7.1
	外材製材品	△ 7.1	△ 7.1	△ 7.1
	その他	10.0	0.0	△ 10.0
在庫動向	国産材製材品	14.3	△ 7.1	0.0
	外材製材品	△ 7.1	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0

・国産材製材品の入荷は4月の増加が、5月は減少、6月横ばい。外材は4月、5月の減少が6月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

・国産材製材品の販売は4月の増加が、5月、6月は減少。外材は3ヵ月連続して減少。その他は4月の増加が、5月の横ばい、6月の減少。

・国産材製材品の在庫は4月の増加が、5月は減少、6月横ばい。外材は4月の減少が、5月、6月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/4月	5月	6月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	7.1	△ 7.1
	柱角 KD12×3	△ 7.1	7.1	△ 7.1
	通し柱 12×6	0.0	10.0	△ 10.0
	桁角	△ 7.1	7.1	0.0
	母屋角	△ 7.1	7.1	0.0
	タルキ	0.0	7.1	0.0
	間柱	0.0	0.0	△ 7.1
	加工板	0.0	8.3	0.0
	ヌキ	△ 7.1	7.1	0.0
	平割	0.0	0.0	△ 7.1
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	7.1	△ 7.1
	柱角 KD12×3	△ 7.1	7.1	△ 7.1
	土台角 10.5×4	0.0	7.1	△ 7.1
	土台角 12×4	△ 7.1	7.1	△ 7.1
通し柱 12×6	0.0	0.0	△ 10.0	
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	△ 28.6	△ 14.3	△ 14.3	
米マツ割物	△ 25.0	△ 16.7	△ 16.7	
北洋エゾマツタルキ	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7	
北洋アカマツタルキ	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3	

・スギ製材品の価格は、4月は総じて保合ないしやや弱含み、5月はやや強含み、6月は総じて保合ないしやや弱含み。

・ヒノキ製材品の価格は、4月は総じて保合ないしやや弱含み、5月はやや強含み、6月はやや弱含み。

・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。
・米マツ平角及び割物は弱含み。

・北洋エゾマツタルキ及び北洋アカマツタルキは弱含み。

(荷動き)

- ・国産材入荷順調、WW間柱・柱の入荷少ない。国産材荷動き少ない、外材は4月になっても荷動き悪い。防音工事なく国産材の在庫増、WW27mm間柱及びWW 5 PLYの在庫少ない。(関東)。
- ・国産材の入荷はやや増、外材、その他は横ばい。販売量は4月はやや増加するが、5、6月は横ばい。在庫は4月はやや増加、5月以降は横ばい(中部)。
- ・WWは入荷減少。スギ・ヒノキの販売が減少気味(関西)。
- ・震災の影響で、材の出荷が減るとされる(九州)。

(価格動向)

- ・スギ柱角(KD10.5cm、12.0cm) 58,000円/m³、スギ桁角(東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角2等材 バタ角(東北材) 30,000円/m³、スギタルキ(東北材) 45,000円/m³、スギ間柱(KD) 58,000円/m³、スギ加工板(東北グリーン材) 東2,800円、(KD) 東4,000円、スギヌキ(東北材) 40,000円/m³、秋田材50,000円/m³、スギ平割(プレーナー) 45,000円/m³、同(ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角10.5cm、12.0cm(KD)・土台角10.5cm 12,0cm 80,000円/m³、米マツ平角 KD65,000円/m³、米マツ割物AD 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ(アSEMBル単価) (S) 68,000円/m³、(P) 58,000円/m³、(バンドル単価) (S) 65,000円/m³、(P) 55,000円/m³(関東)。
- ・スギは販売が落ち込み勝ちだが、価格は据え置き。ヒノキは価格横ばい、構造材の動き自体良くない。米マツ平角の価格が下がった。仕入、販売共に悪く先行きが見えない。北洋エゾタルキ、北洋アカマツタルキは価格横ばいだが、全体的に仕入、販売共に総量が減っている(中部)。
- ・ヒノキは横ばいが定着、販売不振にて相場先行きは悲観的(中部)。